

## 排水・用水用オゾン処理装置に関する JIS 改正のお知らせ

日本オゾン協会は「JIS B 9946 排水・用水用オゾン処理装置－仕様項目及びオゾン濃度測定方法」の原案作成に携わり、2011年11月21日に制定・公示致しました。

制定から6年が経過した2017年より本JIS規格の改正作業を開始し、2019年8月20日、「JIS B 9946 : 2019 排水・用水用オゾン処理装置－仕様項目及びオゾン濃度測定方法」を制定・公示に至りましたので報告致します。

主な改正内容については以下の通りです。

### 1. 海外規格の調査

関連規格としてドイツ規格、中国規格を精査した。ドイツ規格からは耐オゾン性材料に関して見直しを実施した。また安全面としてオゾン発生器からの漏えいに関する記載を追記した。また中国規格からは電氣的な安全面からオゾン発生器、電源装置の接地に関する記載があり、要求事項の追加を行った。

### 2. 耐オゾン性材料

文献調査により二相ステンレス鋼やPVDF、EPDM、FFKMを耐オゾン性材料として追記した。

### 3. 仕様項目・要求性能の安全に関する法規の検討

改正前のJISでは記載のなかった安全に関する法規について記載した。

### 4. その他

改正前のJISでは解説となっていた一部を附属書とした。

なお、JIS規格票（冊子）は日本規格協会グループWebsiteにて購入できます。（1冊税込み3,300円）<https://webdesk.jsa.or.jp/books/W11M0070/index>

